

2026 年度
一般推薦入試
(健康プロデュース学部 健康柔道整復学科)
小論文 (100 点・90 分)

次の図 1～2 は総務省発表の情報通信白書（令和 6 年版 一部改変）である。

図 1 は各種オンラインサービスにおいて 1 億ユーザー達成までにかかった期間、

図 2 は「生成 AI」の市場規模（試算）を各々示したものである。

下記の文章を読み以下の問いに答えなさい。

人工知能（AI）は長年にわたる研究と開発を経て、今では企業の業務や私たちの日常生活に深く関わるようになってきている。特に 2022 年から急速に普及した OpenAI による対話型 AI の“ChatGPT”などの「生成 AI」は、文章や画像を作り出し、複雑な作業も自律的に AI が行う革新的な技術である。この技術の登場により、広告、マーケティング、コンテンツ制作など多くの分野で大きな変化が起きている。また、スマートスピーカーやチャットボットを通して生活にも浸透して来ている。さらに、「生成 AI」は XR（拡張現実）やロボット技術と組み合わせることで、教育や娯楽などの知的作業や、製造業や介護などの現場作業の補助や革新に貢献している。

問1 図 1 の ChatGPT の普及は驚異的なスピードでユーザー数が拡大している。上記文章をふまえ、これまでのオンラインサービスと比較してどのようなことが考えられるか 200～300 字で述べなさい。

問2 図 2 の「生成 AI」の市場規模（試算）は 2027 年で 1,200 億ドル規模になると予想されている。市場規模の動向について簡潔に説明し、「生成 AI」はヘルスケア（医療関係）においてどのような利用が考えられるか、良い面・悪い面も含め、あなたの意見として 600～700 字で述べなさい。

図1 各種オンラインサービスにおいて1億ユーザー達成までにかかった期間

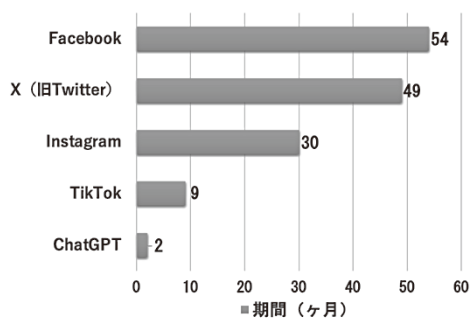
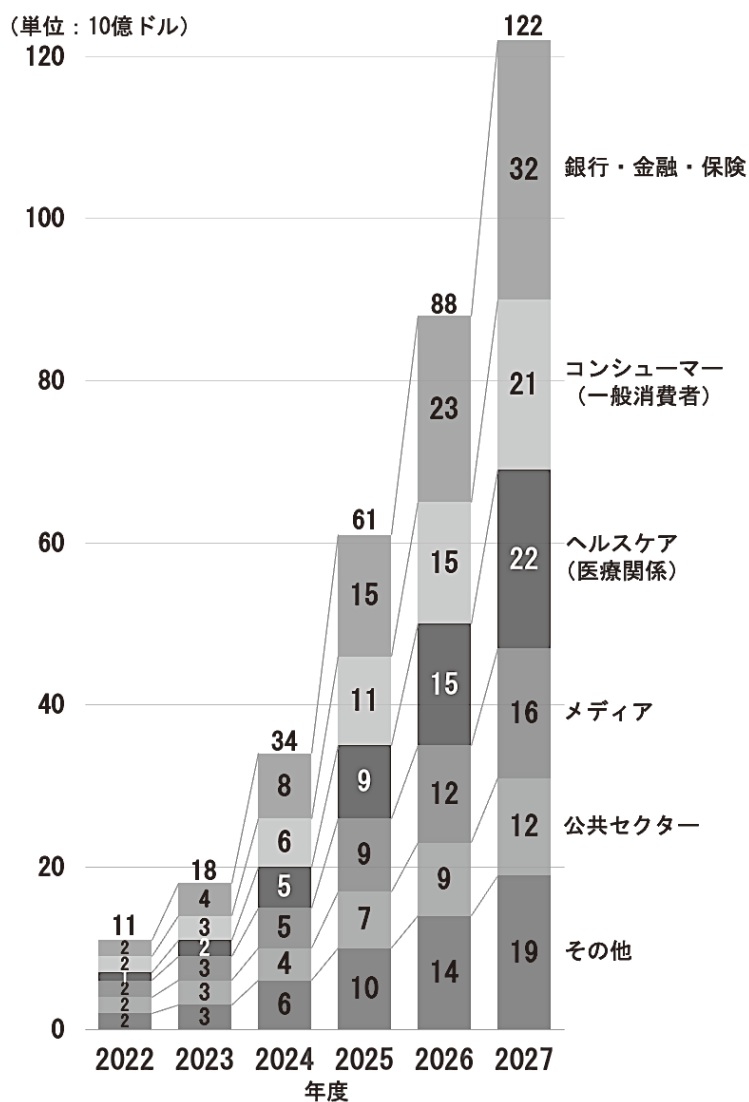


図2 「生成AI」の市場規模（試算）



【出典】総務省 情報通信白書（令和6年版 一部改変）デジタルテクノロジーの変遷